



## アスリートたちのために

### スポーツでの技術向上・実力と可能性を発揮したい方へ

自分自身の力を100%出し切り、最高のパフォーマンスをと願うアスリートたちにとって、フィジカル・コンディショニング（健康管理）は必要不可欠です。アスリートたちはコンマ1秒を縮めるため、日ごろからハードなトレーニングを積み、自分を追い込むことが習慣になっていることで、「痛みや苦痛と友達」になってしまい、からだの「注意信号」を無視しがちです。「調子が出ない」とか「身体に違和感を感じる」はまさに注意信号です。からだの通信回路の配線に問題が出ているかもしれません。

パフォーマンスをする上でも、「なぜかエラーやミスが多い」とか「無意識につまずく・ぶつける」などの現象は、明らかに毎分毎秒変化する「現実」を脳が正確に認識できないという深刻な問題です。それらの「脳が起こすエラー」繰り返しが、大きな怪我につながるかもしれないのです。

上記の問題は背骨にある神経センサーのエラー（脊柱サブラクセーション：脊柱機能不全）として検出できます。

カイロプラクティック（脊柱神経学）は、この脊柱サブラクセーションの早期発見と正確かつ優しいアジャストメントにより脳と背骨、そして神経システムをリセットできる、唯一のプロフェッショナルです。

調査によれば、カイロプラクティックを受けているアスリートたちの方が、そうでない選手たちに比べ、スピード、バランス、パワー、状況判断力、反応力が、ケア開始後6週間で10.7%向上し、12週間で16.7%向上したという結果が出ています。

世界のトップ・アスリートたちは最高のパフォーマンスと怪我の予防のため、カイロプラクティックを試合前後に必ず受けています。アトランタオリンピックの十種目金メダリストのダン・オブライアン、ボクシングの元世界チャンピオン、ケン・ノートンやエヴァンダー・ホリフィールド、プロゴルファーのタイガー・ウッズ、プロサイクリングのトニー・マーティン、世界陸上のウサイン・ボルト、クロスフィットのリッチ・フローニンクなどがカイロプラクティックの効果を賞賛し、継続的にアジャストメントを受けています。

### カイロプラクティック・ケアを受けているアスリートたちの言葉

「正直言って、カイロプラクティックほど、素晴らしいプロフェッションはないよ。僕にはなくてはならない存在だ。多くの人々を助け、たくさんのケガを未然に防げる。

(中略) ほんとうにすごいよ。パワフルだよ！」

(アーノルド・シュワルツネガー)

「カイロプラクティック・ドクターの、患者として、僕の受けた恩恵は計りしれない。カイロプラクティック・アジャストメントは僕のトレーニングとスイングの向上には欠かせない。」

(タイガー・ウッズ)

「カイロプラクティック・ドクターはチーム・スタッフの中で最も重要な人物だ。」

(ランス・アームストロング)

「カイロプラクティック・ドクターに診てもらうことで、私のパフォーマンスは向上する。リングに上がる前には、必ずアジャストメントを受けているよ。」

(イベンダー・ホリフィールド)

#### 参考文献

1. Haldeman, S. Spinal Manipulative Therapy in Sports Medicine. Clinics in Sports Medicine, 1986, 5, p. 227.
2. Luro. B.M. Chiropractic effects on athletic ability. Chiropractic: The Journal of Chiropractic Research and Clinical Investigations. 1991.6(4), pp.84-87
3. News release. International Chiropractic Association Review, March/April, 1990.
4. Interview with Nick Athens, D.C. Chiropractic Achievers, Nov/Dec 1989, p.38.
5. International Affairs. Chiropractic Sports Medicine, 1989, 3(1), p.14.
6. News and World Report, July 31, 1989, p. 56.
7. Interviews with Nick Athens, D.C. Today's Chiropractic, March/April 1989, pp.60-63.
8. Athletic excellence through chiropractic (pamphlet). Pomona, NY: Chiroforce, 1991,p.3.